

# ～誰も取り残されない。みんなが主役の社会へ。～

## 地域資源①：福祉課&社会福祉協議会

今年度から福祉課と社会福祉協議会がタッグを組み、高齢者の健康居場所づくり事業を展開しています。平成29年から実施している健康体操を中心とした「健康元気もりもり教室」に、買い物などの外出支援や脳のトレーニング問題集などに取り組む「居場所事業」をプラスし、「あなたの1日プロデュース事業」として、多くの方に参加いただいています。今後は、地域での自主的な取組へシフトチェンジしていきます。

また、「健康元気もりもり教室」がスポーツ庁(長官:室伏 広治氏)の「スポーツによるまちづくり」の先進事例30自治体の1つに選ばれました。評価されたのは、全国的にも少ない高齢者健康づくりの「継続」です。詳しくは、右記のQRコードからスポーツ庁のホームページをご覧ください。(トップページから「愛荘町」で検索)



詳細ホームページ



ヘルスツニリズムも兼ねて  
金剛輪寺へお出かけ

スポーツ庁のお墨付き

健康元気もりもり教室

## 地域資源②：高齢者

「健康元気もりもり教室」の会場まで送迎が必要な方へ、シルバー人材センターのドライバーによる送迎サービスを行っています。高齢者の就労支援と生きがいづくりの一役を担っています。



シルバーの送迎は  
いつも安全・親切・丁寧



地元の食材満載の弁当

## 《ことばの解説》

- **地域共生社会** 地域住民同士が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがいを、地域とともにつくる社会のこと。町では、第4期愛荘町地域福祉計画でその実現について提唱しています。
- **引きこもり** 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人と交流をほとんどせず、6ヶ月以上自宅にとどまり続けている状態のこと。
- **8050問題** 「80」代の親が、長年引きこもる「50」代の子どもの生活を支えるという問題。
- **老老介護** 高齢者が高齢者を介護している状態。高齢化が進む日本において、顕著となっている。
- **ダブルケア** 子育てと親や親族の介護が同時期に発生する状態のこと。
- **ヤングケアラー** 本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。
- **農福連携** 障がい者等が農業分野で活躍することで、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。
- **ヘルスツニリズム** 健康回復や維持・増進につながる観光。



豊富なメニューを掲載した  
「愛荘町健康レシピ」

## 地域資源③：民間(その1)

「あなたの1日プロデュース事業」では、滋賀県立大学や町健康推進員協議会とコラボして開発した「愛荘町健康レシピ」の献立を活用し、愛荘産の食材を使用した昼食の弁当を、町内事業所が提供しています。1食500円のおいしい弁当で地産地消を学び、マイ箸を使うことで環境保全にも取り組んでいます。

[協力事業所 香凛舎(愛知川)・中央旅行(市)・カレーダイニングAsian(安孫子)・くよもん農園(東円堂)・有限会社 豆清(目加田)]

## 地域資源④：民間(その2)

「居場所事業」では民間事業所(企業)の活力を生かし、民間の地域貢献を推進しています。スマートフォン基礎講座や、歩行支援用具を使った外出による健康づくり講座など、様々な分野の参画を検討しています。



分かりやすい指導が好評!  
スマホ基礎講座

## 地域資源⑤：集落(その1)

東円堂地区では、「一般社団法人ふれあいハウスとよくに」を立ち上げ、空き家を活用した居場所を今年4月に開設されました。高齢者の健康体操や子ども食堂、防災キャンプなど様々なことに取り組んでおられます。今後はキクラゲの栽培による農福連携も計画中です。

視察大歓迎ですので、ぜひお越しください。



地域の仲間と自分の  
ペースで健康づくり

## 地域資源⑥：集落(その2)

目加田地区では、「ふれあい広場」を開設し、区民交流事業として、おしゃべり会、小学生ふれあい合宿、芋煮会、よもぎ餅つくりなどを実施し、生活支援事業として、買い物支援に取り組んでおられます。事業を支えておられるのは、区三役、福祉推進委員、民生委員児童委員、支え活動支援グループ、各自主活動グループなど、有志の皆さんです。



小学生ふれあい合宿は  
楽しい夏の思い出

## 地域資源⑦：集落(その3)

市地区では、高齢者のふれあいサロンを開催されています。マジシャンによる本格的なマジックショーやプロ顔負けのアマチュア落語など、楽しい企画を役員の皆さんで考えておられます。高齢者のサロンについては、新型コロナウイルス感染予防に苦慮しながらも、多くの集落が取り組んでおられます。



生の落語に皆さん大笑い

## 地域資源⑧：家族・福祉関係機関・行政

養護学校児童の保護者や先生、福祉サービス事業所などの有志の皆さんが集まり、「愛荘町障害児者親の会」を設立されました。月1回のペースで勉強会を開き、福祉施設の視察や意見交換を行い、「愛荘町でともに暮らし、ともに学び、ともに働き、ともに活動することの実現」を目指し、地域性を活かした、これからの町の障がい福祉を考えておられます。

家族+福祉関係機関+行政の三位一体の取組で障がいのある方が安心して暮らせるまちづくりを進めていきましょう!



あいとうふくしモール等視察・勉強会



見守り訪問で配布の  
地域包括支援センター  
手作りの脳トレ問題集

※問題集は役場福祉課と図書館でも配布しています。

図 福祉課(愛知川庁舎) ☎0749-42-7691